



学校教育目標

自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

3月号 令和3年3月1日

じだい へんか
時代の変化をとらえる

こうちょう とりやま まこと
校長 鳥山 真

がっこう ねんどまつ がつ むか ねんまえ しょうがっこう りんじきゅうぎょう はっぴょう はじ
学校にとっての年度末、3月を迎えます。ちょうど1年前に小学校の臨時休業が発表され、初めてのこ
とで戸惑いの中、対応に追われました。そして、4月から2か月を休校という形でスタートする1年となりまし
た。これまで当たり前のようにできていたことができなくなる1年で、教育内容にも変化と柔軟な対応が求め
られました。

こんねんど あたら がくしゅうしどうようりょう がっこう きょういくないよう きじゅん ぜんめんてき じっし とし
今年度は新しい学習指導要領(学校における教育内容の基準)が全面的に実施される年で、この
がくしゅうしどうようりょう かいいてい じだい はいけい きょうそく へんか よそくこんなん じだい
学習指導要領が改訂される時代の背景のキーワードとして「急速な変化」「予測困難な時代」ということ
が言われましたが、別の意味でその言葉を象徴するような1年になりました。このような時代に学校教育に
は「変化に向き合い、他者と協力して課題を解決すること」「様々な情報を見極め知識を得る中で情報を
見直し新たな価値あるものにしていくこと」「状況が変化する中で目標や目的を修正していくこと」ができる
子どもを育成していくことがいっそう求められています。

ほんこう きょういくかつどうぜんたい み つ ちから じぶん かん ちから じ ここうていかん
本校では教育活動全体で子どもたちに身に付けてほしい力を、「自分づくりに関する力(自己肯定感)
(コミュニケーション力)」「課題解決力」と設定し、教育活動を見直しました。外国語教育への対応やプ
ログラミング教育の必修化にも対応できる時間を生み出していくための精選等も行いました。今年実施し
ていしながら改善を進める予定でしたが、実現できなかったものもたくさんありました。今年度の状況をレギ
ュラーなものとしてとらえることもできますが、先行きが見えない中、これも時代の変化としてとらえて次年度
の計画を考えていく必要があると思っています。

こんねんど ほごしゃ みなさま とく けんこうめん きづか がっこう ささ
今年度、保護者の皆様には、特に、子どもたちの健康面にお気遣いをいただき、学校を支えていた
ほんどう じねんど か しえん たまわ ねが もう あ
きました。本当にありがとうございました。次年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。